

今年、初となった台風17号の出水による布目ダムの防災操作 ～布目ダム下流の布目川（興ヶ原地点）の水位を約1.1m低減～

平成24年9月30日に台風17号接近により、淀川水系布目川の独立行政法人水資源機構が管理する布目ダム流域では、午前11時の降り始めからの総雨量が140mm（最大時間雨量38mm）に達し、ダムへの最大流入量は管理開始以降2番目に多い毎秒約188立方メートルを記録しました。

この降雨による出水に対し、ダム下流の布目川沿岸の洪水被害軽減のため、国土交通省淀川ダム統合管理事務所長の指示により、ダムからの最大流下量を毎秒80立方メートルとする防災操作※を実施し、ダムがない場合と比較した場合、ダムから約6km下流の興ヶ原水位観測所付近の河川水位を約1.1m低減したものと推定され、下流の洪水被害軽減に貢献できたものと考えられます。

※『防災操作』とは、大雨などによりダムに流れ込む洪水の一部を貯水池に溜め込み、洪水を小さくして、ダム下流の河川に流すことを言います。

※今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値が変わることがあります。

平成24年10月2日

国土交通省 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所
独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

奈良県政記者クラブ
奈良市市政クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所 副所長 佐々木 正夫

住所：三重県名張市下比奈知2811-2

電話：0595（64）8961（代表）

国土交通省 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所 副所長 井上 日誌男

住所：大阪府枚方市山田池北町10番1号

電話：072（856）3131（代表）

今年、初となった台風17号に伴う 出水と布目ダム防災操作の効果について ～^{ぬのめがわ}布目川（^{おくがほら}興ヶ原地点）の水位を約1.1m低減～

9月30日、午前11時頃より降り始めた台風17号に伴う降雨は、淀川水系布目川の布目ダム（奈良県奈良市）上流域では、9月30日15時から16時の1時間の雨量が最大38mmを記録し、総雨量は140mmに達しました。

この降雨による出水により、ダムへの流入量が増加し、30日15時59分には洪水量（毎秒100立方メートル）に達したため、防災操作を開始しました。

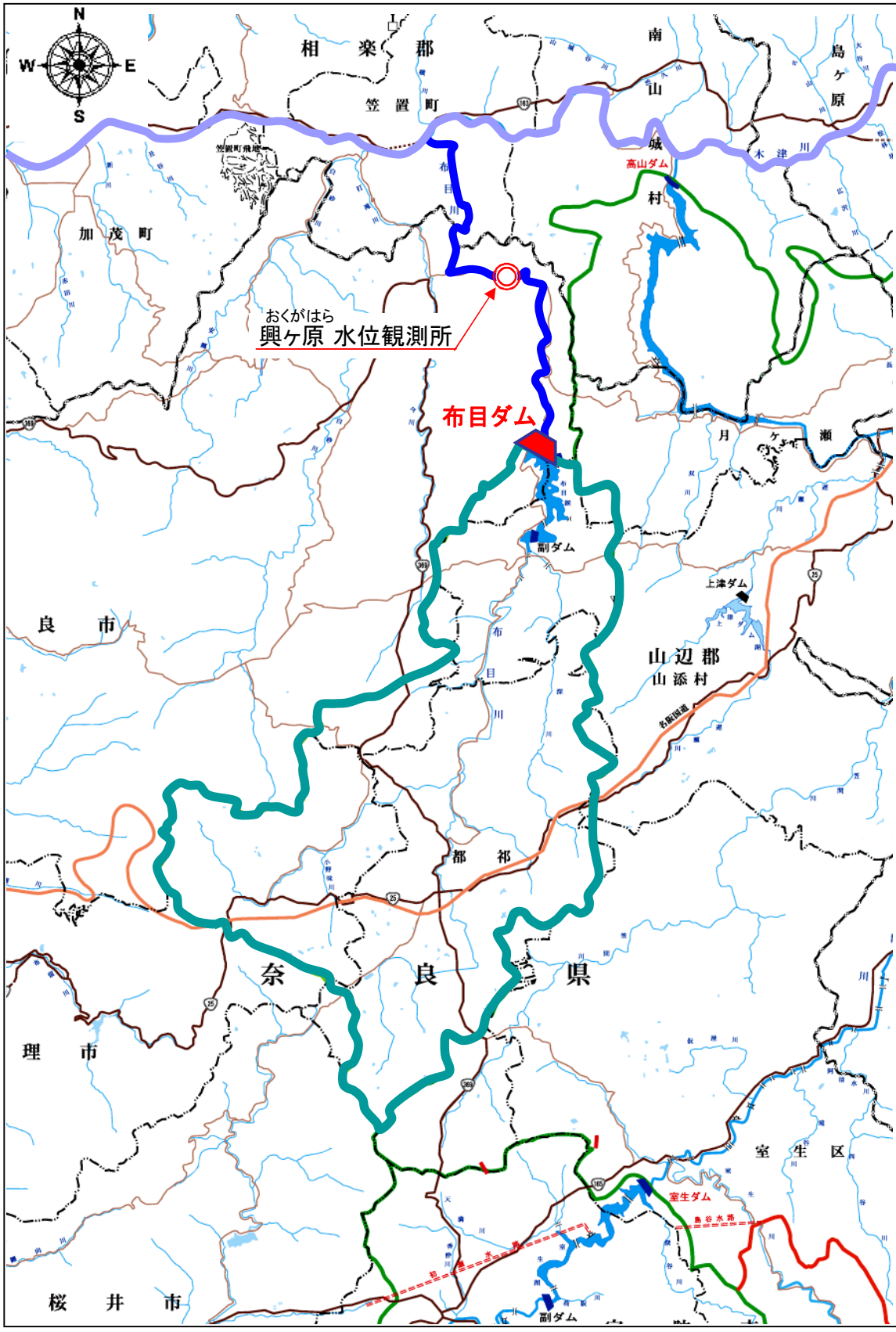
この防災操作ではダム下流の布目川の状況、木津川本川の状況、ダムの貯水容量等を考慮し、国土交通省淀川ダム統合管理事務所長の指示により、ダムからの流下量を毎秒80立方メートルとし、布目川沿岸の洪水被害軽減のための洪水調節操作を行いました。

30日17時19分には流入量が最大（毎秒約188立方メートル）となりました。同時刻のダム流下量は毎秒約80立方メートルであり、布目ダムで毎秒約108立方メートルの貯留を行いました。

この布目ダムの防災操作により、ダムから下流約6kmの^{おくがほら}興ヶ原水位観測所では、ダムが無い場合に比べて河川水位を約1.1m低減したと推定され、ダム下流の洪水被害軽減に貢献できたものと考えられます。

布目ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダムの効果発現に努めて参ります。

布目ダム流域平面図



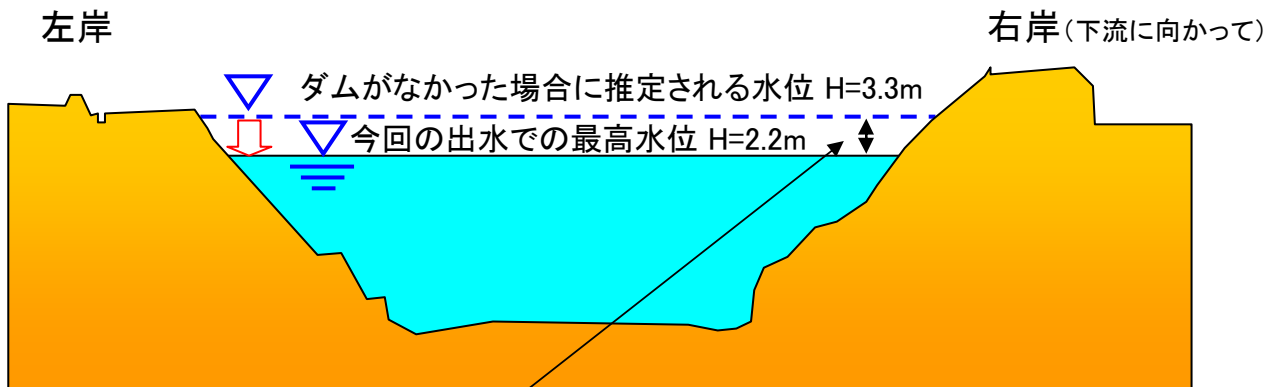
木津川 布目川 布目ダム流域

台風17号に伴う布目ダムの防災操作効果

平成24年9月30日(台風17号)

布目ダムの防災操作状況(興ヶ原地点)

※興ヶ原地点は、ダムから下流約6km地点



ダムにより約1.1mの水位低減効果がありました。

布目ダム下流の河川の状況

写真 ダム下流 3.7km地点

平常時



※平成24年9月30日 17時10分頃撮影

洪水時

推定流量約98m³/s



写真 ダム下流 1.7km地点

平常時



※平成24年9月30日 16時40分頃撮影

洪水時

推定流量約80m³/s



布目ダム洪水調節図(平成24年9月30日 台風17号による出水)

